

土壌微生物活性資材昭和酵素シリーズ

酵素活性剤

昭和酵素Hi-S 【種子処理】



はたらきと効果

種子処理時に水溶する

酵母菌が活性化

a
酵素反応課程
で有害菌の細胞膜に浸透
↓
有害菌を除去

b
酵母菌が増殖
↓
ビタミン・ミネラル・アミノ酸
を種子に適した状態で排出
↓
種子の発芽を促進

使用方法

①種子処理に使用するとき

●硬い種子（稲などは浸種前）

昭和酵素Hi-Sの1000倍液の中に24時間浸してください。

●軟らかい種子（キュウリ・かぼちゃなど）

昭和酵素Hi-Sの1000倍液の中に4時間から5時間浸してください。※温度は15℃から25℃が適温です。※時間・倍率は厳守してください。

倍液の作り方

水100ℓに対して昭和酵素Hi-S100gの割合で使用量を決めてください。

はじめは、小さな容器の中で少しづつ水を加えて泥状のものを作り、その後タンクに投入してよく攪拌します。

昭和酵素Hi-S100gで40kgの種子を処理できます。

使用上の注意

- 使用にあたっては、ゴム手袋を装着してください。また衣服にかからないように注意してください。（生地に付くと変色し汚れが落ちません。）
- 塩水選後、未乾燥のまま昭和酵素Hi-Sの1000倍液に浸しても差しつかえありません。
- 昭和酵素Hi-S倍液に定められた時間浸した直後に新しい水で浸種しても差しつかえありません。

土壌微生物活性資材昭和酵素シリーズ

酵素活性剤

昭和酵素Hi-S【土壌活性】



はたらきと効果

- ① 酵素の働きにより土の微生物を増やし、団粒構造(土と土をくっつけて、隙間ができる土の構造)をつくり、隙間に水、養分を貯え、根を張りやすくします。
- ② 酵素の働きにより、発根を促します。
- ③ 酵素の分解力で有機物(牛、馬糞、鶏糞、腐葉土)や肥料の吸収性を高め、根を傷める有害ガスの発生を抑えます。

家庭菜園や花での使用方法

元肥と共に使用する場合30坪(約100㎡)に昭和酵素Hi-Sを1kgの割合で定植1~2週間前に有機物(牛、馬糞、鶏糞、腐葉土など)と混合し、攪拌して土と混和します。

※追肥としても使用できます。

製造元

株式会社 **昭和酵素研究所**

〒889-2532 宮崎県日南市大字板敷7635-1
TEL(0987)25-9798 FAX(0987)25-5710